

市街地広報、はまにゃんも参加

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 佐藤3陸佐）は11月16日（月）から11月18日（金）に市街地広報を実施し、担当地域の主要駅である武蔵小杉駅（中原区）、新川崎駅・鹿島田駅（幸区）、川崎駅・京急川崎駅（川崎区）でポケットティッシュの配布を行なった。

初日の武蔵小杉駅では神奈川地方協力本部の人気キャラクター『はまにゃん』も参加し市街地広報を盛り上げた。『はまにゃん』を取り囲む人々からは「かわいい」と大好評で、地域住民からも受け入れられたようだ。

コロナウイルス感染拡大防止策としてマスク着用や手袋を装着しての市街地広報だったが、『はまにゃん』とのふれあいで興味を持った人もいたようで、自衛隊について広報官に話を聞いたりしていた。

川崎出張所は「今年はコロナ禍でイベントの中止が相次ぎ、自衛隊を知ってもらう機会が少ない中『はまにゃん』の協力もあり多くの人に注目していただけた。これからも川崎の地域に寄り添った活動を継続したい」としている。



市街地広報を手伝う神奈川地本人気キャラクター『はまにゃん』

合格者及び家族説明会「自衛隊への興味が増してきた」

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原1陸尉）は、11月21日（土）合格者及び家族説明会を実施した。これは対象者の不安解消と入隊率向上を目的に例年は12月～1月にかけて当事務所で実施しているもので、今年は新型コロナウイルスの影響で早い時期から少人数に分けて実施しているところである。当日は、対象者と家族合わせて22名が参加した。所長の全般説明から始まり、次に先輩隊員の体験談や入隊後の生活などをDVDを見ながら説明をした。後半は、家族会と先輩隊員及び陸・海・空広報官の7名も加わって懇談会を実施した。対象者からは「体力が不安だけど、入隊までにどんな準備が必要ですか」「併願先とまだ迷っているけど、自衛隊への興味が増してきました」など、現在の心境がうかがえた。最後に「今回の説明会で多少の不安は解消出来ましたか」との所長の問いかけに対し、多くの参加者がうなずき説明会の成果を確認できた。

横浜中央募集案内所は「今後も個別の部隊研修や入隊予定者激励行事等を通じて、不安解消や入隊率向上を図っていききたい」としている。



所長の概要説明に聞き入る参加者



先輩隊員として体験談を話す古谷1士（中央）



家族会、先輩隊員、陸海空広報官も加わり懇談会